

2028 年度版 Build Up シリーズ

■中高保健体育の完全攻略

ページ数, 箇所	誤	正
p. 227 6	該当する問題なし	削除
p. 227 7	該当する問題に対応していない	問題6の解答・解説として読み替える
p. 227 8	該当する問題に対応していない	問題7の解答・解説として読み替える
p. 227 9	該当する問題に対応していない	問題8の解答・解説として読み替える
p. 227 10	該当する問題に対応していない	問題9の解答・解説として読み替える
p. 228 11	該当する問題に対応していない	問題10の解答・解説として読み替える
p. 228 12	該当する問題に対応していない	問題11の解答・解説として読み替える
p. 228 13	該当する問題に対応していない	問題12の解答・解説として読み替える
p. 228 14	該当する問題に対応していない	問題13の解答・解説として読み替える
p. 228 15	該当する問題に対応していない	問題14の解答・解説として読み替える
p. 228 16	該当する問題に対応していない	問題15の解答・解説として読み替える
p. 228 17	該当する問題に対応していない	問題16の解答・解説として読み替える
p. 228 18	該当する問題に対応していない	問題17の解答・解説として読み替える
p. 228 19	該当する問題に対応していない	問題18の解答・解説として読み替える
p. 228 20	該当する問題に対応していない	問題19の解答・解説として読み替える

なお、都合により削除した問題6は下記の通り（解答と解説は、p. 2276として掲載している内容を参照してください）。

次の表は、文部科学省「柔道の授業の安全な実施に向けて」（2012年3月）「2 柔道の授業における安全管理のための6つのポイント」「実際の授業の中で」「(5)安全な柔道指導を行う上での具体的な留意点」の一部である。（ ）に適語を入れよ。

【学習指導要領に例示されている投げ技と安全指導のポイント】

投げ技	どんな事故に注意すべきか	事故を防止するための指導のポイントは？
大腰	○取が腰を曲げて（ ① ）状態で技をかけると、受ではなく、取が頭部から突っ込み頸部を痛める恐れがあります。	○（ ① ）状態で技をかけることを禁止し、自分のバランスを崩して低い姿勢になった場合は、持っている受の襟や袖を放し、自ら前受け身をとるように指導しましょう。 ○右組の場合、取は上体を起こし、受を右前隅に崩して技をかけるようかかり練習や約束練習を繰り返して習熟を図ることが重要です。
大外刈り	○受が防御で踏みとどまったにもかかわらず取は上体を浴びせるようにして同体で	○受が防御で踏みとどまった場合は、それ以上同体となって倒れ込むことを禁止しましょう。

	倒れ込むと、受は真後ろに倒され（ ② ）を打つおそれがあります。	○右組の場合、取は受の右後ろ隅に十分崩して技をかけるようかかり練習や約束練習を繰り返して習熟を図ることが重要です。
	○取が受の両脚を刈り上げると、受は（ ② ）から落ちていく恐れがあります。	○受の両脚を刈り上げることが禁止しましょう。 ○右組の場合、取は受の右後ろ隅に十分崩して技をかけるようかかり練習や約束練習を繰り返して習熟を図ることが重要です。
	○大外刈りをかけられた際に、受が上体をひねり、防御の手をつくると手首や肘を痛めるおそれがあります。	○受は（ ③ ）をしないで潔く受け身をとるよう指導しましょう。